

活動報告

企画部会「第6回おづぶらざフェスタ」に出展

2月23日（木）に泉大津市で開催された「第6回おづぶらざフェスタ」にNPO法人おづ自然エネルギー市民の会と共同で出展しました。コロナウイルス感染症の影響もあり、3年ぶりの出展でした。フェスタは、日頃の取り組みの成果を発表するステージタイムやブースへの出展、団体の活動掲示など、延べ40を超える団体の参加があり、来場者も600名を超え、過去にない盛り上がりでした。

今回の出展では、汐見市民共同発電所の実績や他の発電所の紹介を多くの方が熱心に見てくださいました。中には、会場で会員に入会していただいた方や、マンションにお住まいの方からの太陽光発電の設置のご相談などもありました。また、おづぶらざ事務局の方をはじめ、登録団体の方々との交流がすすみ、個別にイベントへの出展のお誘いもいただき、企画部会で検討していくことになりました。これまで泉大津市や大阪府みどり公社と協力して開催してきた環境工作教室や、仲よし学級（学童保育）での環境学習講座などと合わせて、今後も地域のみなさんとのイベント開催に向けて協力関係を築いていきたいと思います。



フェスタ全体の様子



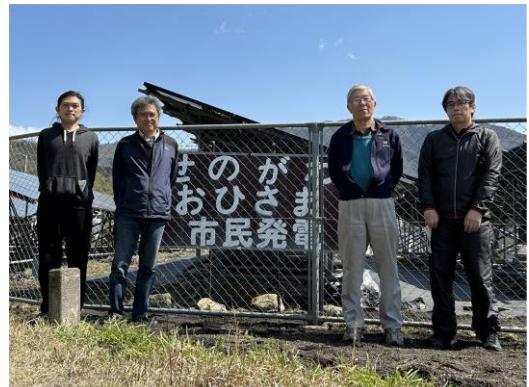
PARE 出展ブース

せのがわおひさま発電所を訪問

3月19日（日）に「せのがわおひさま発電所」に太陽光パネル下の配線結束作業と今後の発電所管理などについての懇談をしてきました。せのがわおひさま発電所から3名、PARE企画部会メンバーと事務局スタッフ3名、計6名の参加でした。

当日は、写真でもわかるようにお天気も良く、身体を動かすと少し汗ばむくらいの作業日和でした。発電所開設から約10年が経過し、結束バンドも劣化して所々切れているところもあり、配線がぶら下がっている個所もありました。途中、休憩を入れながら2時間ほどの作業でした。鉄道ファンの方はよくご存じですが、休憩中には発電所横の瀬野八で貨物列車を補機が押している様子も見れてラッキーでした。

作業終了後は、ご自宅に伺い、広島のお好み焼きをいただきながら遠隔監視装置の設置や、パソコンの入替え計画の検討についてなど、ご相談させていただきました。今後は定期的に懇談していければと思っています。



配線結束作業参加メンバー



作業の様子

PAREスタッフ 島田和幸